（２）工事の時間的コストの低減（施策番号Ⅱ）

機雷探査等の省略が可能になるポンプ浚渫の実施

秋田港向浜地区泊地（水深１２ｍ）浚渫工事

【施策の概要】

従来、残存機雷水域における浚渫工事は、磁気異常点の除去を行ってから、浚渫工事を実施してきたが、磁気異常点密集区域では、作業時間の長期化、安全性等様々な問題から、事前の機雷探査等を省略できる、カッタレス装置を搭載したポンプ浚渫船にて施工を行っています。

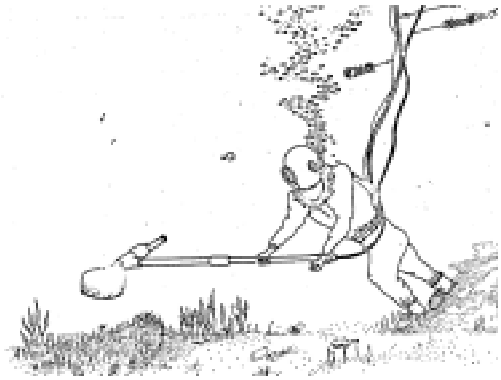
【施策のポイント】

従来の機雷探査等及び浚渫工事を実施する工程と比較して、浚渫工事着手前の機雷探査等の省略により、全体工程が約８５日短縮できました。

【イメージ図】

（従来）

浚渫工事実施前に、機雷探査等を行い、機雷等を除去してから通常の浚渫工事を実施。



（カッタレス装置を搭載したポンプ浚渫）

ジェット水の噴射により土砂を切り崩し、浚渫土砂を吸い込む方式を採用しており、残存機雷水域に対しても安全な浚渫が可能。